

## 交流会・プレゼン審査実施概要

### 交流会概要

本予選会では、チーム間での交流を行うことで同世代の繋がりを増やし、お互いに技術を共有しあうことで予選全体でのレベルアップを目指しております。またコーチの方もノウハウやチームビルディングのために行っている取り組みなどについて共有していただきたいと考えております。

そこで本予選会では、競技参加チームに、スライドを使用し自チームのロボットやプログラムについて紹介をしていただき、他のチームがどのような方針で開発を進めてきたのかなどの情報を共有する交流会を実施します。また、この交流会と並行して審査員によるプレゼン審査を実施いたします。

### プレゼン審査方法

3ページのプレゼン資料を大会当日A3横3枚に印刷し持参してください。プレゼン資料はポスターボードに縦に貼り付け、ロボットを見せながら約3分間のプレゼンテーションを行います。その後、審査員と2分程度質疑応答を行います。

### プレゼン評価方法

本概要最下部のルーブリックの評価項目に基づき評価します。審査員は各項目10点を満点とし点数をつけます。各審査員の点数は大会終了後に各チームに公開します。

### 交流会・プレゼン審査の流れについて

交流会はロボット競技が全て終了した後に実施します。交流会中は選手・コーチ・観戦、見学者と自由に交流していただいて構いません。プレゼン審査は事前に指定したグループごとに実施します。自チームの含まれるグループが審査中はポスターボードの近くで待機し、審査員が来るのをお待ちください。それ以外の時間は自由に交流をしていただいて構いません。

### その他

審査員によるプレゼン審査を行うほかに、選手やコーチの方々にも評価をしていただきたいと考えています。こちらは任意とはなりますが、教育の観点からや第三者からの観点からの評価も選手にとって非常に有益だと考えているため、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

選手の皆様には大会前に自チームのプレゼン資料はルーブリックを参考に自己評価をすることを推奨いたします。大会前の自己評価を第三者の評価と比べることで、自チームが優れていた点、改善すべき点を把握し、今後の活動方針に活かしていただきたいと考えています。

## 評価基準項目

評価項目	レベル1(0~4)	レベル2(5~6)	レベル3(7~8)	レベル4(9~10)
チームワーク	チームワークについて提示していない・情報が不足している。	特定のメンバーからに負担が集中しており、チームワークを見受けられない。	メンバーの役割のバランスが取れており、チームで取り組んでいる。	チームとしての取り組み方に独自の工夫がなされており、その成果が発揮されている。
ソフトウェア	ソフトウェア開発における課題が提示されていない。または情報が不足している。	ソフトウェア開発における課題が提示されてはいるが、不適當である。または課題に対する解決策が不適當。	ソフトウェア開発における課題が提示されており、課題に対する解決策が適當である。	ソフトウェア開発において、全国・世界大会で通用するレベルの高い課題設定能力と解決能力を有している。
ハードウェア	ハードウェア開発における課題が提示されていない。または情報が不足している。	ハードウェア開発における課題が提示されてはいるが、不適當である。または、課題に対する解決策が不適當。	ハードウェア開発における課題が提示されており、課題に対する解決策が適當である。	ハードウェア開発において、全国・世界大会で通用するレベルの大会課題設定能力と解決能力を有している。
ロボット開発能力	ソフトとハードを組み合わせる際の工夫については示されていない。または情報が不足している。	ソフトとハードを組み合わせる上での工夫点について示されているが、不適當である。または工夫が意味をなしていない。	ソフトとハードを組み合わせる上での工夫について示されている。	ソフトとハードを組み合わせる上での工夫について示されており、高い完成度のロボットの開発ができています。

### ロボット開発力について

ロボットはソフトとハードをうまく組み合わせる必要があり、どちらかのみ高い技術力があるだけでは

「ロボット」としての完成度としては低いと言えます。この評価項目は「ロボット」を開発する上での工夫点等を評価します。